広報やまこし

発行所
新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78

印刷所
大川印刷所

主な記事

○公共土木事業の概要
○寄宿舎など十月に完成
○農委選挙十四日に投票
○収入役に小池さん就任
○学校基本調査の結果から
○「ゆかた」お分けします

5月の村の人口
＝47年5月末日現在＝

世帯数	1,016	
人口	4,332	男 2,147人 女 2,185人
出生	5人	(男3・女2)
死亡	5人	(男4・女1)
転入	14人	(男8・女6)
転出	9人	(男5・女4)

5月の住民移動

県道の舗装は三千米
梶金・木篭線は県が代行

池谷・寺野間に年々スノーセットが伸びます

県道の改良や舗装、地すべり対策や砂防工事などで、いわゆる公共土木事業がことしも別表のように実施される予定になっています。

主な事業は、まず舗装関係では寺野地内、桂谷～池谷、虫亀～桂谷、種苧原下村地内、梶金地内などで約三千米が舗装され、虫亀から聋沢に向っても、わずかですが舗装がはじめられます。

これにより間内平～桂谷～虫亀は全線舗装になる予定です。

県道の改良関係では梶金と梶金橋間の改良や梶金橋の掛け替えをはじめ、楢木～木篭～小松倉の改良、城山橋から種苧原部落までの道幅の拡張など千三百米が改良されることになっています。

また、冬期の交通を容易にするため、寺野橋附近のスノーセットが池谷方向に約七十米延長されます。

梶金から梶木校附近を経て木篭に至る村道梶金・木篭線は過疎対策事業として昨年に引き続き、村に代って県が直接実施します。

地すべり対策や砂防事業では前沢川（小松倉）神の沢川（梶金）朝日川（間内平）額堂川（虫亀）など各川筋の護岸、えん堤、集排水工事も実施される予定です。

道路を整備し、冬でも自動車が通れるようにすることは、山古志村にとっていちばん急がれている問題ですが、とくに県道の改良、舗装はその基幹となるものです。

これらの事業が円滑に実施できるよう、みなさんのいっそうのご協力をお願いします。

47年度実施予定の公共土木事業の概要

路線名	工事場所	規模
小千谷・栃尾線	寺野橋附近スノーセット	m 70
〃	寺野地内（舗装）	300
〃	桂谷～池谷（舗装）	200
〃	間内平地内（舗装）	85
〃	種苧原～下村地内（舗装）	600
柏崎・高浜・堀之内線	梶金～梶金橋（改良）	500
〃	梶金橋掛け替え	30
〃	竹沢診療所裏の吹き付け	50
〃	虫亀～桂谷（舗装）	1,100
〃	虫亀～濁沢（舗装）	200
〃	梶金地内（舗装）	200
長岡・小出線	種苧原地内（幅員拡張）	350
〃	種苧原地内（舗装）	100
池谷・後広瀬停車場線	木篭～小松倉（改良）	250
〃	楢木地内（待避所）	—
村道梶金木篭線	梶金～木篭（改良）	155
地すべり・砂防	小松倉・虫亀・種苧原・梶金・間内平地内	—

寄宿舎 住宅
鉄筋で十月完成

統合中学校の寄宿舎と教員住宅の起工式が先月二十日、校舎わきの現地で行なわれ、二十二日には工事施行者の蛸大石組の手によって着工されました。総工費は四千九百四十万円、完成後はいずれも十月末日の予定です。

寄宿舎も教員住宅も鉄筋三階建で面積は合わせて九百三十二平方米（約二百八十三坪）。五米離れている両方の建物は一階の娯楽室と食堂が渡り廊下でつながってつながれます。

寄宿舎の内部は六畳の寝室十二部屋のほか食堂、乾燥室、浴室、洗濯室、休養室などとなっており、寄宿する生徒は一部屋四人づつとなります。六畳（約三坪）十三部屋のほか調理室、炊事婦室、食品庫、浴室、乾燥室、ボイラー室などから成り、両方とも温風暖房装置が取り付けられます。これで現在計画された統合中学校の関連施設のうちまだ着手されていないものはグラウンドだけになりました。

農業委員選挙十四日に投票
選ばれる委員は十人

任期満了による農業委員選挙は七月十四日（金）に行なわれます。今後三年間地域農業の発展を推し進め、農民の利益を守るための新しい委員十人が選ばれるわけです。しかし農業委員選挙は他の公職選挙に比べとかく低調になりがちです。変動の激しい農業情勢であるだけに、今回の選挙をきっかけに、これからの農業をしんけんに考え、真の農業の代表者としてふさわしい識見と活動力のある人を選ぶことが大切です。

選挙権と被選挙権

今回の選挙で投票できる人と立候補できる人は次のとおりです。

①投票できる人
山古志村に住む満二十歳以上の人で農業委員選挙人名簿に登録されている。

選挙人名簿には、ことし一月一日現在で十アール以上の農地を耕作する経営者と、その人の同居の親族で、年間六十日以上農業に従事する人が登録されています。

②立候補できる人
農業委員の選挙権がある人で、投票日である七月十四日までに満二十歳になる人は立候補できます。

立候補届は八日まで

自分で立候補したり他人を候補者に推せんしたり他人をすすめたりする人は、次の点にご留意ください。

①届出の日時
七月九日から八日までの二日間、時間は午前八時半から午後五時まで。届出に関しくわしいことはあらかじめ選管にお問い合せください。

選挙運動

選挙運動は立候補届の日から投票日の前日までできます。

農業委員選挙は公職選挙法に準じて行なわれ、選挙運動の内容も選挙運動費用やポスター、はがきなどについて特に制限がないからは、買収、きょう応、戸別訪問、特定公務員の選挙運動、連呼行為、演説会等は禁止または一定の制限があり、調査が正確にできますようご協力ください。

なお、各農家においては、村内に就職した者は家業（農業）についた者二十七人となっています。

また、村外就職者は東京二十三人、愛知七人、埼玉七人、千葉三人、その他六人で、長岡市、小千谷市など県内の他市町村に就職した者は十六人です。

村外に就職した者の六三％は紡績、電気製品、食料品など製造業で、以下卸小売業二三％、サービス業一〇％などとなっています。

レントゲン間接撮影の日程

場所	期日	時間
芹坪小学校	7月 4日	10:30～12:00
種苧原小学校	〃 5日	10:00～12:00
長島然料店前	〃 17日	10:00～12:00
竹沢小学校	〃 17日	1:30～ 3:00
山古志中学校	〃 18日	10:00～12:00
池谷小学校	〃 18日	1:30～ 3:00
虫亀小学校	〃 19日	10:30～ 2:30
梶金(栄)商店	〃 20日	10:30～ 2:00
下村作業所	〃 21日	10:00～12:00
中道屋商店前	〃 21日	1:30～ 3:00
竹沢小学校	〃 31日	10:00～11:30
竹沢保育所	〃 31日	1:00～ 2:30

収入役 小池さん就任

村収入役の板牧永吉さん(63)が満三十五年在職し、六月二十日で任期満了となるため、後任に総務課長の小池松衛さん（写真）を任命したい旨、先月十六日の定例議会にかった結果、全員異議なく同意され、小池さんは二十一日収入役に就任しました。

大正三年七月十日生
住所・桂谷

知らせお

▼**成人式は十九日です**
昭和四十七年度の成人式は今月十九日（水）午前九時から役場で行ないます。

対象者は昭和二十六年四月二日から二十七年四月一日までの間に生まれ、現在村に在住している者です。

ことしは五十四人（男三十一人、女二十三人）のみなさんが予定されています。

また、式の終了後は弥彦神社参拝や、角田浜方面へのバス旅行を計画していますので、全員が気軽に参加されますようお待ちしています。

すでに各人あてに案内状をさし上げてありますが、まちがえなどがありましたら係までご連絡ください。

（教育委員会）

▼**梶金地内で交通制限**
県道柏崎・高浜・堀之内線の梶金地内（十二平に至る橋から梶金寄りに百米の地点）で次のとおり交通制限を実施中ですからご協力ください。

①期間　九月二日まで
②車の通れない時間
午前8時～10時
午前10時30分～12時
午後1時～3時
午後3時30分～5時30分

（産業建設課）

▼**農地の調査にご協力を**
農地の移動状況や現況を正しくおさえ、農業振興をおし進める参考資料とするため、ことしも農地法にしたがい、八月一日現在の自作地や小作地の面積、田畑の移動状況などについて調査します。

二十五日ごろまでにもよりの農業委員がみなさんのお宅にお伺いしますので、調査の正確にできますようご協力ください。

なお、各農家においてはあらかじめ次の点についてわかるようにしておいてください。

昨年八月二日以降に農地の売買や転用などがあったとき、またはこれを受けたときは、その農地の字名、番地、面積、買受人など。

（農業委員会）

▼**暑中見舞はがき発売中**
郵便局では七月一日から涼しそうな絵入りの暑中見舞はがきを二種類を発売します。ねだんは普通のはがきと同じ一枚十円です。

（郵便局）

▼**忘れないで！郵便番号は住所の一部**
あて名にも蛍出人の住所にも郵便番号は正確に書きましょう。

郵便番号は昭和四十三年七月に発足してから今月で五年めを迎えました。

郵便番号は郵便局の受持区域を系統的に数字であらわしたもので、現在では郵便番号自動読取区分機のない地方の郵便局でも、すべて郵便番号によって区分けしています。このため、郵便番号を記入していない郵便物が郵便の全体の流れに大きな負担をかけますので、すべての郵便物に郵便番号を記入されますようお願いします。

（郵便局）

▼**今月の納税は……**
七月は固定資産税の第二期分と、国税である所得税の第一期分を納める月です。月末までに忘れずにお願いします。

（税務課）

▼**家屋の異動は届出を…**
家屋を新築、改築、増築または移転したり、転出などのため他人に売り渡したとき、または古い家屋を取りこわしたときなど、家屋に異動があった場合は、異動のあった日または買受人の氏名などを、早めに役場または出張所に報告してください。

（税務課）

▼**居ながらに求人情報が…**
長岡職安のテレホンサービス
長岡職業安定所では電話による求人案内をしています。お宅の電話からすぐ長岡(23)二三三番にお申しかけください。毎日午前九時から午後一時までは男子向け、午後一時から午後五時までは女子向け、午後五時以降は全般向けで、録音テープが案内します。情報は一週間ごとに新しくなります。

（長岡公共職業安定所）

▼**レントゲン車がまわります**
結核予防のため、レントゲン間接撮影を次の日程で実施しますから必ず受けてください。

対象者は小学生以上おとなまで全員です。

（住民課）

学校基本調査から

小・中学生七百五十三人
高校進学率四六パーセント

文部省の指定統計調査として、ことし五月一日現在の学校の状況を調べた学校基本調査の結果がまとまりましたので、あらましをお知らせします。

85人が巣立った山古志中学校の卒業式

調査の結果によると小学校は二十八学級、四百六十九人で、昨年より三十人の減少、中学校では山古志中学校の統合により、昨年の十五学級から九学級に減り、生徒数も昨年より四十四人少ない二百八十四人となっています。

このように児童生徒数は年々減少しており、五年前はスクールバスで通学し、ことしの冬からは寄宿舎を利用することになっています。

複式は八学級

六つの小学校のうち児童数がいちばん多いのが種苧原小で百五十六人、少ないのが芹坪小の二十二人です。児童数が少ないため複式学級をとっているのは三校で、池谷小が一年と二年、三年と四年がいっしょに、梶木小と芹坪小では一・二年、三・四年、五・六年がそれぞれいっしょに勉強しています。

小学校六校を合わせた一校当たりの平均児童数は七十八人で、一学級当たりでは十七人と小規模になっています。

中学校では、ことしから山古志中が統合したため二校となり、学級数と生徒数は種苧原中が三学級で九十四人、山古志中は各学年とも二学級づつの六学級で百九十人となっています。

一学級当たりの平均生徒数は三十一人です。

また、自宅から学校まで片道六キロ以上の遠距離通学をする生徒は、山古志中に三十一人いますが、村では写真の踊りの輪を広げながら、村民の融和も広げてゆくのに役立てばと期待しながら企画したものです。ゆかたは白地に紺色で水とニシキゴイを配し、「やまこし」の文字が染めぬいてあります。男女の区別はなく身のたけは同じですが、肩幅は大小の二種類です。

希望者には実費でお分けしますから婦人会の役員にお申し込みください。

左 議員さん下駄ばき姿で盆おどりを披露
熱心に講演を聞く議員さんたち

議員さんお勉強
山古志中で研修会

さる六月十一日の日曜日、新装なった山古志中学校体育館に三島郡、古志郡七か町村の議員さん約百三十人が集まり研修会が開かれました。

県農業会議会長の岡村淑一さんを講師に招き「激変する農政を受けとめる者は誰か」と題する講演を聞き、来賓として出席した各町村長さんたちも熱心に勉強しました。

アトラクションには大久保のみなさん二十三人のご協力により歌や踊りが披露され、声自慢の〝受講生〟からも飛び入りが出るなど各議員さんは親睦も深めました。

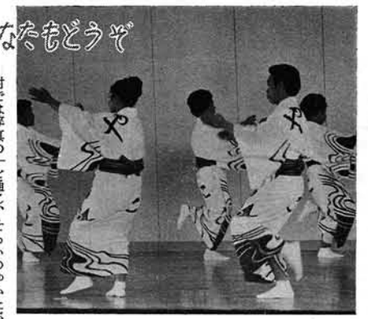
農地転用は許可が必要
申請は農委が窓口

「農地転用」とは農地や採草放牧地の敷地や養魚池、道路など耕作を目的としないものに使用することをいいます。

また、農地の転用には農地の所有者または耕作者みずからが転用する場合と、農地の所有者から農地を買って借りたりして、その農地を他の目的に使用する場合の二通りがありますが、いずれの場合にも転用の許可を受けてから転用してください。

転用許可は県が許可基準によって審査するため、申請後二か月くらいかかります。また許可申請は地元の農業委員会を経て行なうことになっていますので、方々に問い合わせて事前に農業委員会か、もよりの農業委員にご相談ください。

このゆかたあなたもどうぞ



村では写真のような「ゆかた」を一般希望者にもお分けすることにしています。これは村の観光開発を推し進めてゆくなかで、郷土芸能を受け継ぎ、育てゆくことは欠くことのできないものひとつであることから、さびれてゆく盆踊りをいっそう盛り上げる必要があることと、社会体育的な意味合いもあることなどを考えてのことです。

七五パーセントが就職

ことし三月中学校を卒業した生徒は男六十一人、女七十三人の計百三十四人で、五月一日現在の卒業後の状況をみると、全日制高校進学者は二十五人、就職者十三人、就職進学者（定時制）三十七人、無業者九人となっています。

高校進学率は定時制を含め四六％で、昨年より一九％低く、昨年の県下の部部の平均七七％よりはかなり下まわっています。（昨年の市部平均八三％、県平均八〇％）

就職した者は卒業者の七五％に当たる百人で、うち村外に就職した者は七十三人、村内に就職した者は家業（農業）についた者二十七人となっています。

しかし、最近はこの許可を受けないで〝無断転用〟をするかたが多く見られますが、これは農地法に違反するとの原状回復を命ぜられることもありますから、必ず許可を受けてから転用してください。

防除の方法

この害虫は、小さな幼虫のころは糸をはき、葉を何枚か巻き込んで巣をつくり、かたまって生息します。大きくなると巣から離れるので早いうちに巣を切り取って踏みつぶすか、焼き捨てるのがいちばん手軽でよい防除法です。高い枝の巣には棒の先に油布をつけ、巣を焼くのもよい方法です。発見が遅れ幼虫が毛虫となって巣から分散してしまうと被害が大きくなり、防除も薬剤によるしか方法がありません。

このようなときは共同防除をしてください。薬剤は村で無償供与、噴霧機も貸与します。

①六月中旬、八月中旬のつづみ取りが効果的
②六月中旬～七月中旬、八月中旬巣ごと被害を受けた枝を切り取って焼き捨てる
③六月下旬、八月下旬幼虫の分散がはじまるので、薬剤散布でないと効果があがらない。

〝緑の大敵〟を退治しよう

アメリカシロヒトリは樹木の緑を食い荒らす害虫です。昨年は山古志村でも全域にわたり被害をこうむりました。ことしも発生期になりましたので、にくい緑の大敵を退治しましょう。

中学校卒業後の状況　47.5.1現在

	卒業者総数	進学者	就職者 就職者	就職者 就職進学者	無業者	職業者の外就職者	就職者
男	61 人	9 人	24 人	19 人	9 人		21 人
女	73	16	39	18	0		52
計	134	25	63	37	9		73

学校別の児童・生徒数など　47.5.1現在

	学級数	児童生徒数 男	女	計	教員数	1学級当生徒数	教員1人当生徒数
種苧原小	6	79 人	77 人	156 人	9 人	26.0 人	17.3 人
虫亀小	6	35	43	78	7	13.0	11.1
池谷小	4	28	42	70	6	17.5	11.7
竹沢小	6	50	53	103	9	17.2	11.4
梶木小	3	20	20	40	6	13.3	6.7
芹坪小	3	7	15	22	5	7.3	4.4
計	28	219	250	469	42	16.8	11.2
種苧原中	3	42	52	94	8	31.3	11.8
山古志中	6	90	100	190	12	31.7	15.8
計	9	132	152	284	20	31.6	14.2
小中合計	37	351	402	753	62	20.4	12.1

山古志よもやま
盆おどり

佐野 章

江戸の文化が、芳醇（ほうじゅん）なかおりをはなったのが元禄時代で、盆踊が庶民のなかにしみこんだもの。しか、神仏をあざむいて一番でかった。しかし、神仏をあざむいて地獄の釜の底へいためつけられ、一族とも天罰を受けるもの。信じこまれていた時代であったから、まだ盆踊には宗教的な気風が加味されていた。

だが、ひとたび時代の潮流があらたしい勢を生むと、そのあたらしい勢にのって古い風習は空転しながら消え、あらたな風習が生れるものらしい。

明治維新という、あたらしい潮流が生れたのを境として、各地の盆踊は次第にその宗教的なくさみを消し、変って登場したのが「春は花、いざ宵にこんせ東山」色香あらそう夜桜や」の艶調濃い空気となった盆踊りに変っていった。そして、忍ぶ恋路にも雪を発散させる踊場となり、若い者の熱気をいやまして、はては、林のなかや、森かげ、桑畑のなかまで踊場の延長が続くようになったものである。このようなことから明治の初期不粋なお役人によって、「風紀紊乱（びんらん）」のおそれあるとして、盆踊が禁止されたこともあった。だが、社会の風潮というものは、奉先の枯草を焼くと同じようなもので、焼けば焼くほど、あとになって勢いのよい草が生えてくるものだ。水が天地の理にしたがって流れているものを無理にせきとめると、かえって災いを起こすもとになると同様に、夢も希望もすくなかった明治の初期ごろ、唯一無二の青春のはけ場としての盆踊を禁止することは自体に無理があった。特に二十村のように交通不便、外界途絶に近い山村では、盆踊そのものが年間生活行事に織りこまれている一片を無視することは出来なかったはずである。やがては、生えぬびず、動きおどり出るのが社会の実相で、禁止されたはずの盆踊は間もおかずに盛大になっていった。

では、現在二十村でおどる盆踊は、雑の色のものであろうか……。（つづく）